

4千万円の取扱い実績でした。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売金額が、438頭、47億7千万円で昨年より27頭、6億5千万円の増加となり、平均販売価格は83万円増加の1079万円となりました。北海道市場では、一昨年同様

に新型コロナウイルス感染症対策を行い、トレーニングセールも併せて例年同様開催することが出来ました。総売上は過去最高の140億円を超える結果であり、活気に満ち溢れる一年となりました。

また、昨年の重賞レースでは4月17日、中山競馬場で開催された「中山グランドライオン」で(有)グランド牧場生産のメイショウダツサイ号、7月14日、大井競馬場で開催された「ジャパンダートダービー」で城市 公さん生産のキヤッスルトップ号、10月24日、阪神競馬場で開催された「菊花賞」で岡田スタッド生産のタイトルホルダー号、12月12日、阪神競馬場で開催された「阪神ジュベナイルフィリーズ」で(有)千代田牧場生産のサークルオブライフ号がそれぞれG1勝利を挙げ、静内産馬が大活躍した1年となりました。

改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

毎年10月に開催されているしずない農業まつりは、一昨年同様特別栽培米「万馬券」の新米を含む取り纏め販売を行い、多くの町民の方に注文を頂き、前年を上回る取引額となりました。本年はコロナ禍が落ち着き開催出来る環境になることを願うものです。

なお、青年部活動は新型コロナウイルス感染症の落ち着いている時期に依頼を受けた小学校において食育出前授業を行い、コロナ禍において課外活動の少なくなってしまう子供たちに学べる環境を作ることができました。

最後に、昨年は組合員皆様のご理解のもと、営農部生産課を本所に移転し営農指導の強化と業務効率化に努めております。厳しい農業環境の中ではありますが、組合員皆様が力強い農業経営の実現に向け当JAとしましても努力して参りますのでこれまでと変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表監事

渡辺 隆

監事

野表 忍

代表理事組合長

片岡 博

金融部長

小川 哲哉

副組合長

西村 和夫

営農部長

丹野 潤一

理事

伊藤 佳幸

経済部長

樺田 文明

谷岡 康成

山口 修二

外職員一同

小倉 正信

藤村 英治

理事兼管理部長

大滝 康正

